

# 「災害時における障害のある人への支援 について考えるフォーラム」 アンケート集計結果

## 1 アンケートについて

平成24年12月16日（日）に開催した本フォーラムにおいて、来場された方にご協力いただいたアンケートを集計しました。（回答数63）

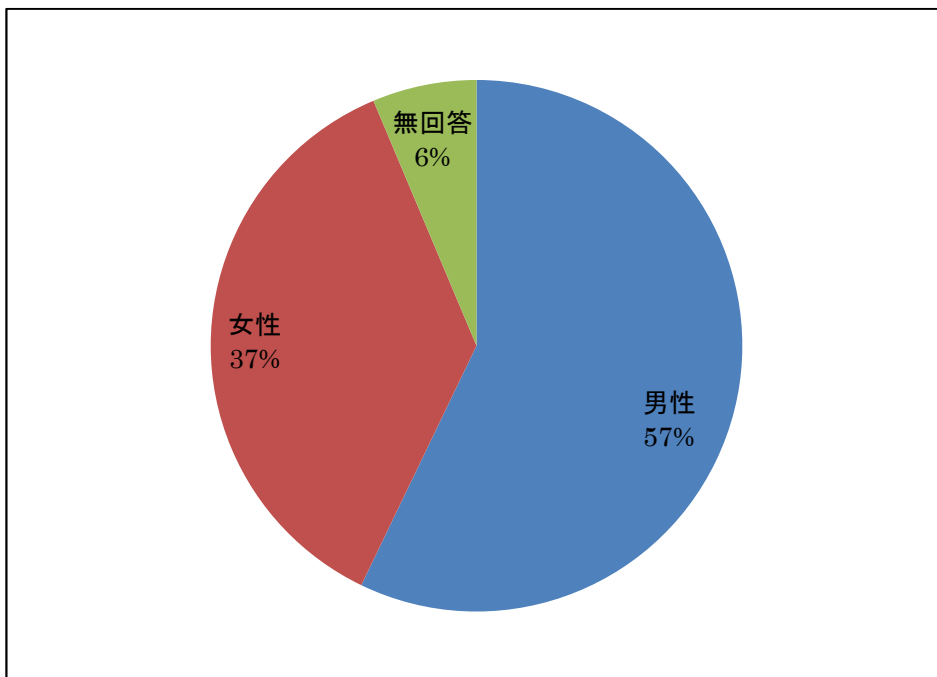
## 2 アンケートの項目

問1	ご自身について
(1)	性別
(2)	年齢
(3)	障害の有無
(4)	区分
問2	フォーラムの評価
(1)	「基調講演」の内容について
(2)	「被災地からの報告」の内容について
(3)	「シンポジウム」の内容について
(4)	フォーラム全体として
問3	災害時に不安に感じることはありますか
問4	災害時に支援を期待する人は誰ですか
問5	日頃から行っている防災対策はありますか
問6	その他、ご意見・ご感想

# 問1 ご自身について

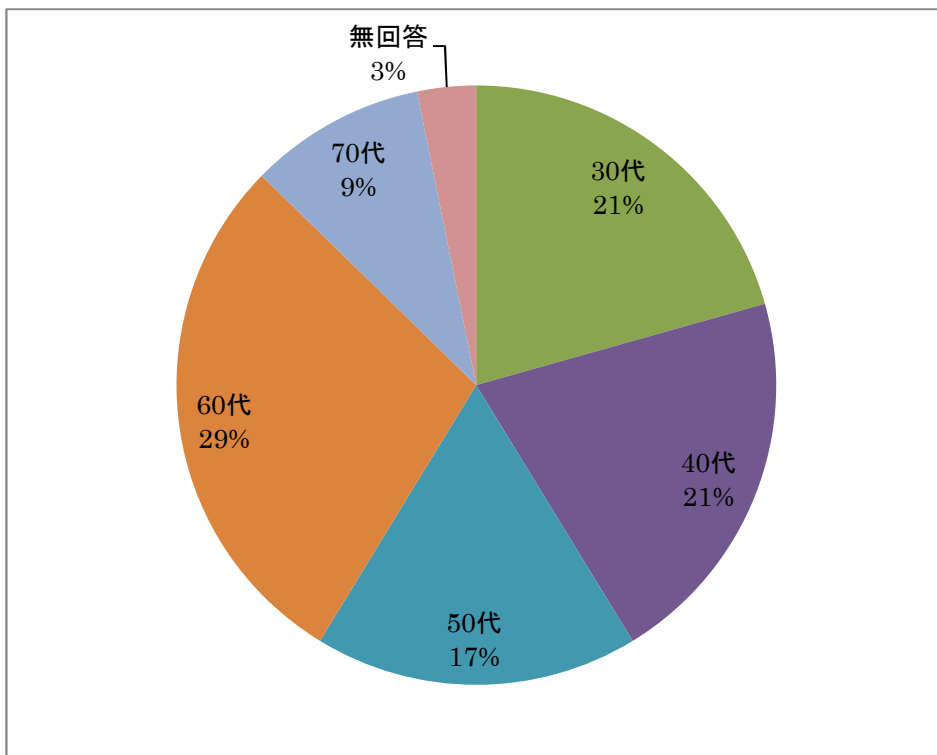
## (1) 性別

男性	女性	無回答
36	23	4



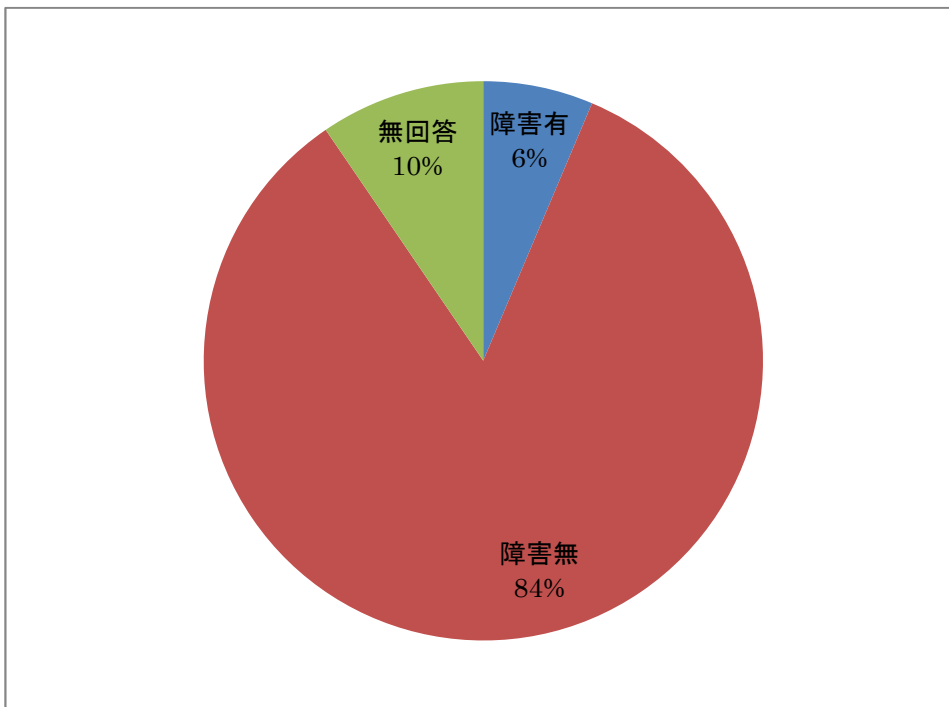
## (2) 年齢

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	無回答
0	0	13	13	11	18	6	2



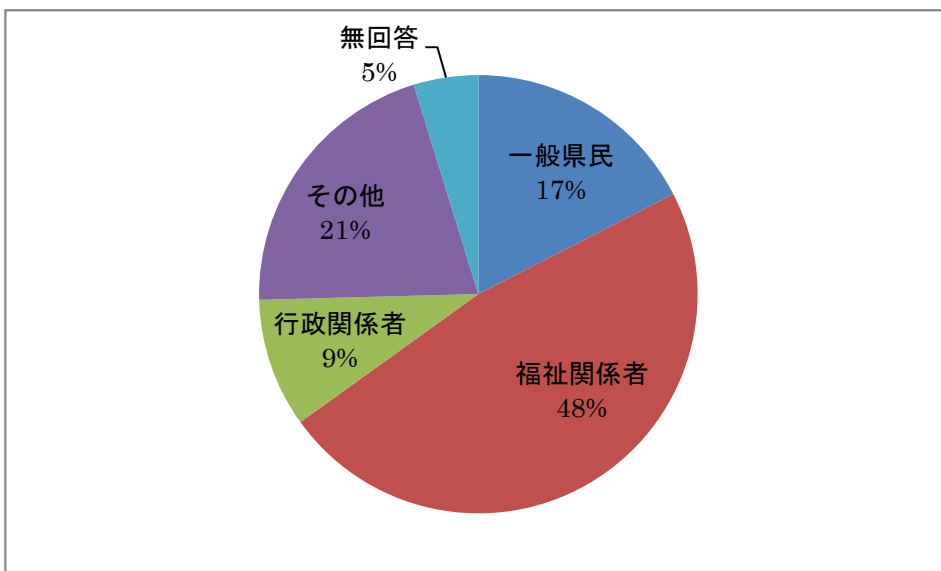
### (3) 障害の有無

障害有	障害無	無回答
4	53	6



### (4) 区分

一般県民	福祉関係者	行政関係者	その他	無回答
11	30	6	13	3



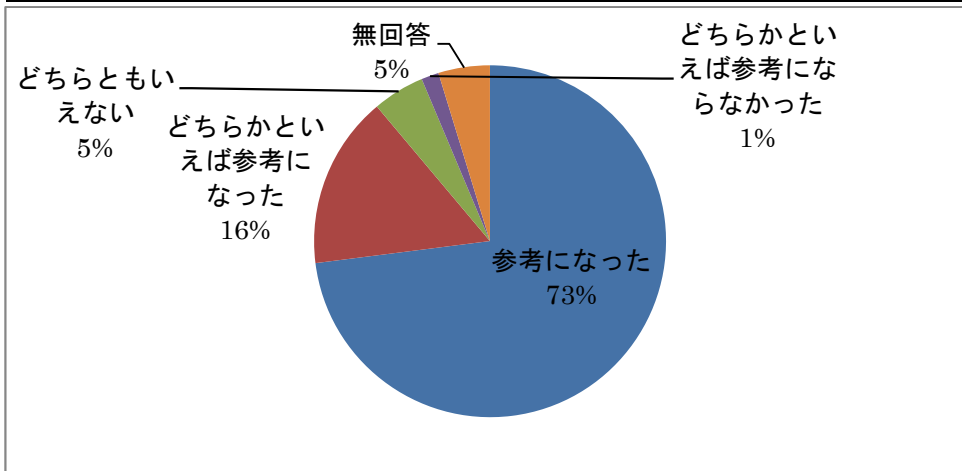
[その他の主な区分]

- ・ 障害児の親
- ・ 特別支援学校教員
- ・ 自主防災組織

## 問2 フォーラムの評価

### (1)「基調講演」の内容について

参考になった	どちらかといえば参考になった	どちらともいえない	どちらかといえば参考にならなかった	参考にならなかった	無回答
46	10	3	1	0	3



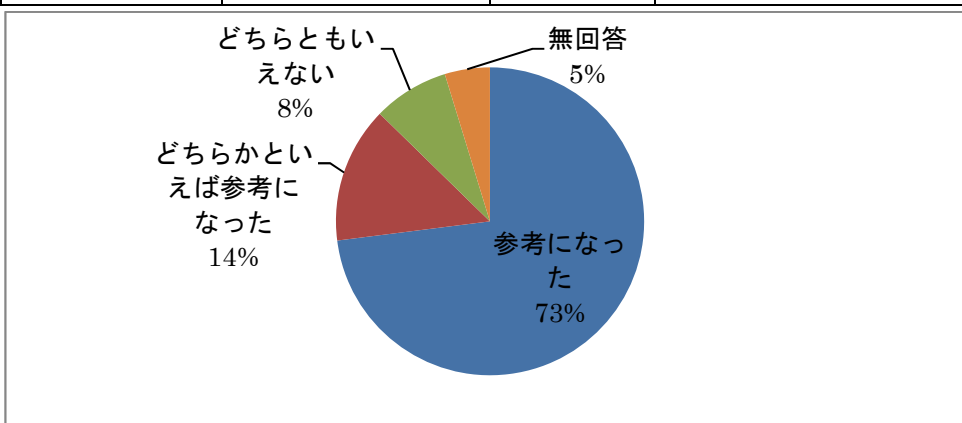
※89%の方が「参考になった」または「どちらかといえば参考になった」と回答。

[主なご意見・ご感想]

- ・地域コミュニティなくして要援護者支援はないことを改めて確認できた。
- ・今現在、災害前に必要な社会資源が何なのか、考えさせられた。
- ・今後震災があった時への事前の準備や避難時の近隣への配慮の重要性など改めて再認識させられた。
- ・障害者への支援についてもう少し具体的な手段・方法が知りたい。

### (2)「被災地からの報告」の内容について

参考になった	どちらかといえば参考になった	どちらともいえない	どちらかといえば参考にならなかった	参考にならなかった	無回答
46	9	5	0	0	3



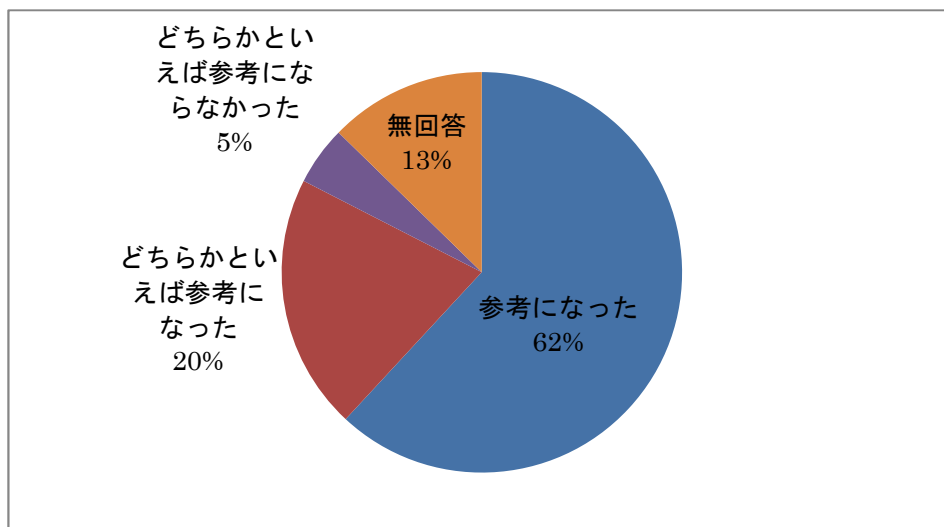
※87%の方が「参考になった」または「どちらかといえば参考になった」と回答。

[主なご意見・ご感想]

- ・直接被災にあった人の話はとても胸に迫るものでした。お話の内容を参考にして自分たちの地域の防災に役立てていけたらと思った。
- ・同じ障害を持った方と仕事をしている身として、実際に自分だったらどうするかという事を改めて考えさせられた。

### (3) 「シンポジウム」の内容について

参考になった	どちらかといえば参考になった	どちらともいえない	どちらかといえば参考にならなかった	参考にならなかった	無回答
39	13	0	3	0	8



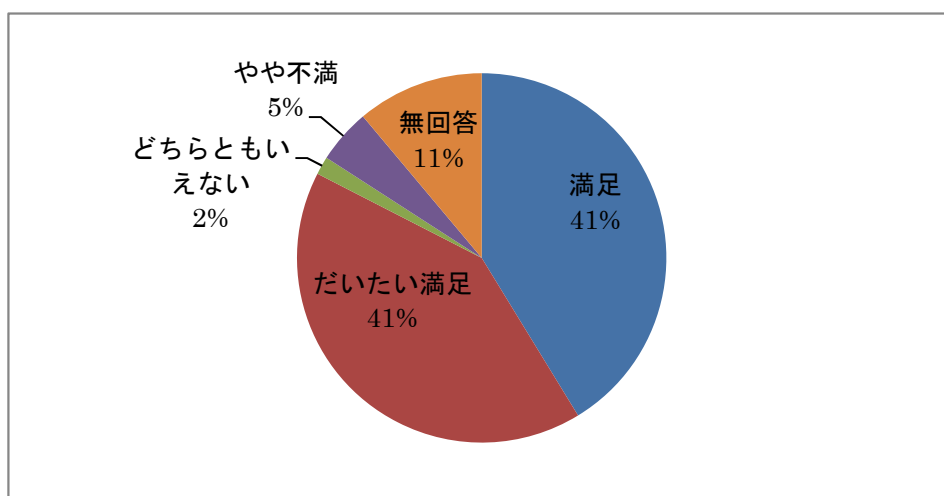
※82%の方が「参考になった」または「どちらかといえば参考になった」と回答。

[主なご意見・ご感想]

- ・ 行政的取り組み、当事者の状況、地元（地域）の状況…と色々な角度で災害について考えることができた。
- ・ 行政の方々の取り組み、何が問題点かが浮き彫りにされ課題として参考になった。
- ・ 既に議論がなされていることの話が多く参考にならなかった。支援をする側の状況を全くと言っていいほど検討していないことが不満。

### (4) フォーラム全体として

満足	だいたい満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
26	26	1	3	0	7



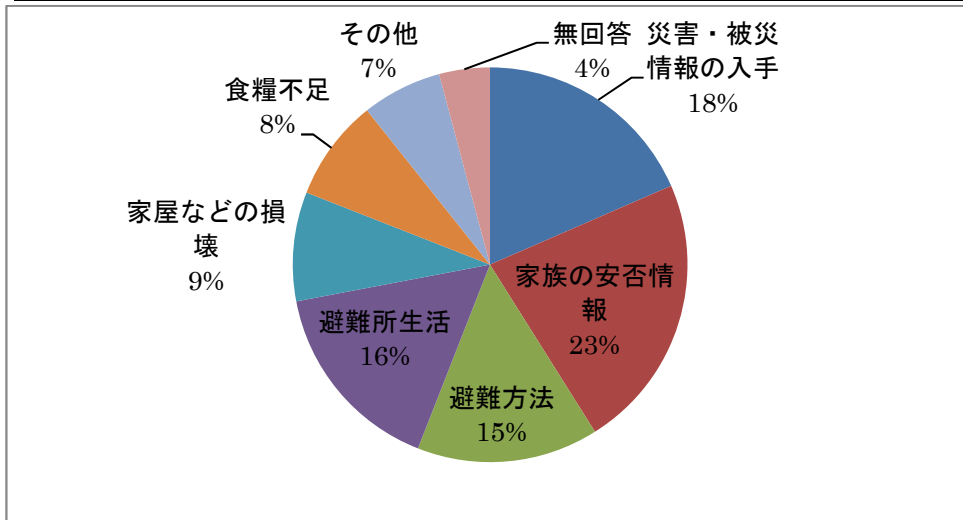
※82%の方が「満足」または「だいたい満足」と回答。

[主なご意見・ご感想]

- ・ 大変貴重な話や情報が聞け、とても有意な時間が過ごせた。
- ・ 要援護者台帳について課題が多い中、大変参考になった。
- ・ 次にどう進むか、自分たちにできることが見えるともっとよかった。

問3 災害時に不安を感じることはなんですか。(複数回答可)

災害・被災情報の入手	家族の安否情報確認	避難方法	避難所生活	家屋などの損壊	食糧不足	その他	無回答
31	38	25	27	15	14	11	7



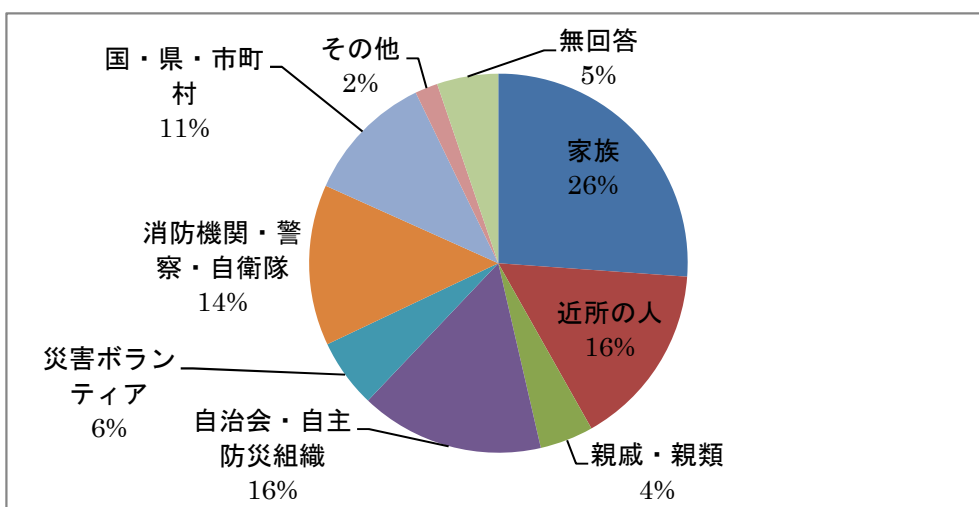
※「家族の安否情報確認」や「災害・被災情報の入手」など、災害時の情報収集に不安を感じる方が多いことが読み取れます。

[その他の主なご意見]

- ・障害の子どもと別々の場所に居た時のことを思うと不安。
- ・今回の災害では行政の対応の遅さに大変不安を感じたので、いかに自己防衛していかなければならないかを考えさせられた。
- ・人工呼吸器をつけて在宅生活をしており、災害時に電源が確保できるか心配。

問4 災害時に支援を期待する人は誰ですか。(上位3つまで)

家族	近所の人	親戚・親類	自治会・自主防災組織	災害ボランティア	消防機関・警察・自衛隊	国・県・市町村	その他	無回答
40	24	7	24	9	21	17	3	8



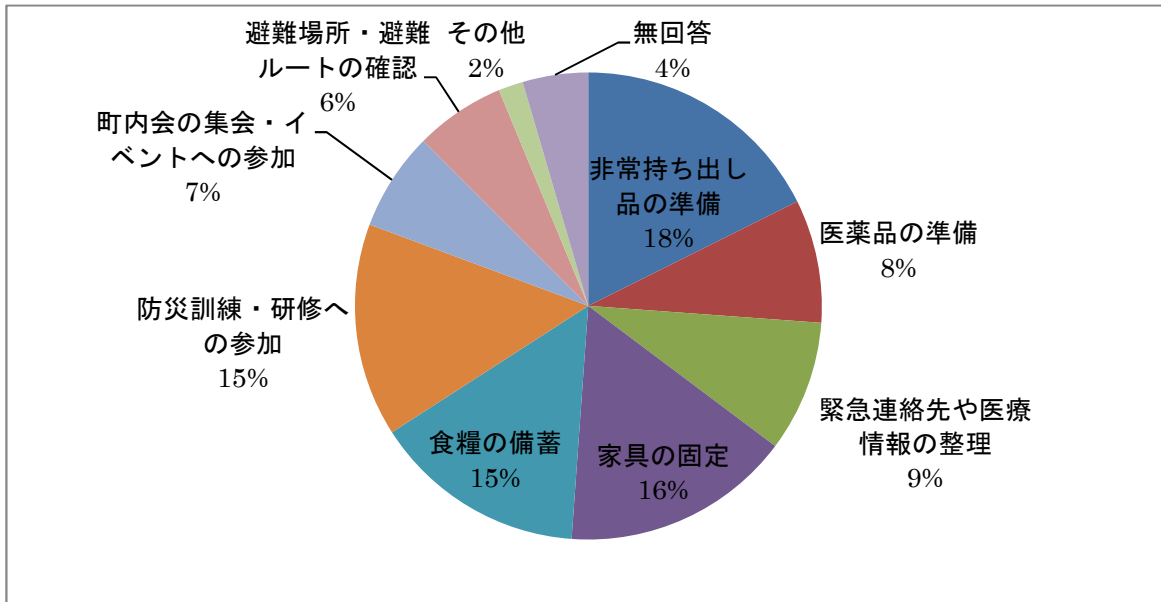
※家族の他、近所の人や自治会・自主防災組織など、地域の身近な人に支援を期待する方が多くなっています。

[その他の主なご意見]

- ・医療的ケアが必要なので、訪問看護の看護師さん他、医療スタッフにも支援していただきたい。
- ・病院、友人や障害者団体。

問5 日頃から行っている防災対策はありますか（複数回答可）

非常持ち出し品の準備	医薬品の準備	緊急連絡先や医療情報の整理	家具の固定	食糧の備蓄	防災訓練・研修への参加	町内会の集会・イベントへの参加	避難場所・避難ルートの確認	その他	無回答
31	15	16	28	26	26	12	11	3	8



※非常持ち出し品の準備や家具の固定などの割合が高く、自宅における対策は進んでいる一方、町内会の集会・イベントへの参加や、避難場所・避難ルートの確認の割合が低く、地域での交流や避難行動の確認があまりされていないことが読み取れます。

[その他の主なご意見]

- ・居住地校交流を通して、地域の人に子どもが障害を持っていることを知ってもらえるようにしている。
- ・障害児の親の会等での情報交換を行っている。
- ・町内会のイベントがなく、転入者なので、障害のある子（21才）のデビューのチャンスがない。

問6 その他、ご意見・ご感想

- ・ いつ何があるか分からないので日常に何をしなければならないか、いかに自己防衛していくのかを考えるにあたり、参考になる話を聞けたので非常に良かったと思う。
- ・ 日頃の取組がいかに大切か、また、それを他の方にも伝えていかなければという思いを新たにした。
- ・ リアルな話を聞いて良かった。準備が大切だと改めて感じた。
- ・ 地域の防災訓練に障害者も参加する必要性を感じた。
- ・ 年度内に改正が予定されている「災害時要援護者避難支援の手引き」や「避難所運営の手引き」に期待する。
- ・ マニュアルの市町村への徹底をお願いしたい。
- ・ 要援護者の名簿の把握について成功例を聞いたかった。（問題が多いただけではわからない。）
- ・ とても良いフォーラムなのに、参加者が少ないのが残念。
- ・ 毎年あると少し気持ちが引き締まる。
- ・ 行政の理解は進んでいるが、一般県民の障害者に対する理解はまだまだのような気がする。今日のようなフォーラムを県内各地で開催して、啓発に努める必要性を強く感じる。